

2015年11月21日

2015年12月28日

2016年10月4日

支援者各位

特定非営利活動法人 PIN Japan

副理事・事務局長 森本泰司

ネパール大震災被災者支援活動報告

平素は、PIN Japan の活動に格別のご協力を賜り、まことにありがたく感謝いたしております。

さて、みなさんもお存じのように、そのネパールで昨年4月25日、未曾有の災害が発生いたしました。私たちの仲間であるPIN Nepalをはじめとする関係団体は、支援の届きにくい過去のプロジェクトの村を中心に、これまでの経験を活かして雨よけのビニールシートや食料の配布あるいは無料の健康診断の実施など被災者支援の活動を展開してきて、現在も活動中です。

現地入りも困難な中で、現地の仲間に直接届けて少しでもお役に立てればとの思いから募集をした義捐金や支援物資に対して、これまでに約90を超す個人・企業・団体から多くのご協力をいただきました。

その中には、東北大震災の時と同じようにバザーを企画して会社ぐるみで義捐金を送っていただいた企業もありました。また、お手製の貯金箱を作ってコツコツと貯めて貯金箱ごと送っていただいたガールスカウトの姉妹もいました。ホームルームの時間にいろいろ勉強して学園祭で緊急募金を呼びかけて送っていただいた中学生もいました。チャリティランチを主催して売上を送っていただいたスカウトの団体もありました。それぞれ自分たちのできることを工夫して支援していただいた姿に頭の下がる思いです。

また、現地での支援活動の代表2人を招いて各地で報告会や交流会を開催しましたが、渡航費の負担や送迎・国内での移動・ホームステイ・観光案内など、これまでのワークキャンプ参加者を中心とした多くのボランティアに支えられました。自らの移動費のご負担や、年休を取っての時間のご提供など多大なご協力をいただきました。あらためて感謝申し上げます。

なお、昨年末にはワークキャンプを計画しましたが、ネパールの新憲法制定に起因するインドの国境封鎖のため、ガソリン不足や物価高騰でヘルスキャンプが実施できない状況になって中止せざるを得なくなりました。

今年は別紙の募集案内にありますように再度ワークキャンプを計画しております。昨年お寄せいただいた支援金や支援物資も合わせてお届けしたいと思います。

引き続き支援を続けていきたいと思っておりますので、今後ともご協力のほどお願い申し上げます。

I. 義捐金・支援物資と支援プロジェクト

これまでにお寄せいただいた義捐金・支援物資は下記のとおりです。(10/1 現在)

※お金にまつわる話は、取り扱いにご注意ください

【災害支援プロジェクト義捐金】

(約 90 人・企業・団体)

【支援物資】

男性用・子供用衣類など (3 人・企業)

・ネパールへのメールでは話題にしない
・ホームページや Facebook などインターネットに上げない

金額の記載は削除しています。以下同様

【2015 年 7 月までのプロジェクト費用】 (1\$=122 円)

※現地での活動は医者や看護師などの一切の人件費を含まない
完全なボランティア活動です

- 「内容」 ヘルスクャンプ (健康調査・診察・治療・投薬・入院手配など)
「参加者」 医師 (5 人)、看護師 (10 人)、薬剤師 (2 人) 他
(すべてボランティア参加: 人件費なし)
「場所」 政府・諸外国の支援の届かない地域や過去のプロジェクト地中心
ポウワ村・シンドリー村など
「対象者」 13 地区 約 4,500 人

【2016 年 2 月までのプロジェクト費用】 (1\$=120 円)

- 「内容」 水のパイプライン復旧、仮設避難所への毛布の配布、アイキャンプ
「場所」 チットラン村、バクタプルなど
「対象者」 毛布の配付 (対象: 120 人)、
アイキャンプと手術 (対象: バクタプルの老人を中心に 20 人)

【用途限定義捐金】 (2 人)

渡航費:

移動費:

【合計】

義捐金:

費用:

残金:

【昨年中止になったワークキャンププロジェクト支援金】
（上記「合計・残金」と合わせて、今後の支援に活用します）
（20人・企業・団体）

【支援物資】
衣類・タオル・旅行用品など（8人・企業）

【現地での支援活動の様子】



＜PIN の子供たちが支援した学校＞
カトマンズ



＜アニタさんの家族が設営した避難所＞
カトマンズ



＜ヘルスキャンプ＞
ポウワ



＜ヘルスキャンプ＞
カブレ地区



＜ヘルスクャンプ：問診・治療＞
カブレ地区



＜ヘルスクャンプ：問診・治療＞
カブレ地区



＜ヘルスクャンプ：投薬サービス＞
カブレ地区



＜ボランティアの仲間たち＞



＜ボランティアの仲間たち＞



＜ボランティアの仲間たち＞
医療グループ

Ⅱ. 支援者・企業・団体 ご芳名（あいうえお順・敬称略）

BS 大阪 70 団	久下 智章	有限会社
BS 大阪 70 団クラブ隊	久下 里江	浜岡鍍金工業所
BS 吹田 10 団	倉本 實	濱岡 千寿郎
CBS 関西協議会有志	小林 真二郎	濱岡 静子
OE クラス会	小林 祐子	林 清子
SOCOD Japan	小山 孝博	林 牧
浅野 直則	小山 孝夫	林 芙美子
阿部 欣司	西条 悦子	原田 旭
天岡 憲子	齋藤 吉雄	原田 敦子
株式会社 アヤラ産業	榊原 隆雄	福祉・後見センター
伊志嶺 博	榊原 多喜子	京都中央
板倉 由樹	坂元 正武	船橋 芳文
今邨 亜樹	坂元 佑	前地 隆裕
岩機ダイカスト工業	坂元 美和	前田 直美
株式会社	坂元 栞	増田 公子
株式会社 ウッズ	坂元 詩子	松木 典子
梅岡 孝治	坂本 辰子	松本 亮一
梅岡 あい子	芝原 泰子	南甲府教会有志
梅村 米子	島原 則雄	南甲府教会虹の会
宗教法人 扇町教会	杉浦 孝穂	宗教法人 南甲府教会
大阪大学 制御工学科	高藤 澄子	村上 美夏
8 期生 同窓会	田口 弘康	森本 泰司
大谷 幸子	田口 みち子	森本 茂子
大野 典子	田口 晶子	安川 ゆき子
岡崎 道男	田内 邦明	山口 進
岡崎 大悟	田村 久子	山口 敏子
岡本 正子	辻中 正子	山田 孝
小田垣 佐智子	宗教法人 天満教会	山梨英和中学校
小田原 学	豊岡 みどり	山梨英和中学校 1 年生
加清 涼子	中川 秀次	山村 秀子
河上 高志	中村 光子	山村 多恵子
川端 溪太	野中 治	山本 貴美子
川端 弘巳	灰谷 晋次	吉田 信明
川端 悦子	灰谷 朝子	匿名希望
公家 崇雄	橋岡 剛子	

以上